

一般質問

24人の議員が行った質問の中から、一部を取り上げて要旨を掲載



自由民主党
岡山市議会
安東 真理

空き店舗対策を進め 商店街を活性化

● 商店街の活性化を後押しして、街なかのにぎわいにつなげることが必要だ。商店街の空き店舗の現状と対策は。また、今後の考えは。

▲ 奉還町商店街はこの10年間でオープンした店舗が40件あり、新規出店が進んでいる。駅前商店街では再開発が動き、飲食店の誘致が進んでいる。どちらの商店街も空き店舗はほとんどない状況だ。表町商店街はハレノワ開館の効果と店舗化に向けた支援で、開館から2年間で新規に48件が出店した。交通量も増え、土地の流動化や価格の上昇などいい方向だが、さらに推進させていきたい。



自由民主党
岡山市議会
大月 晴一

陣屋町足守の史跡を 維持・継承

● 令和7年も吉備路の歴史に触れられる人気の吉備ロマン無料循環バスの周遊が行われている。吉備路の一部である陣屋町足守を感じる史跡はどのくらい現存しているか。

▲ 足守藩は数少ない豊臣系の藩で、独特のアイデンティティーや趣を持っている。指定文化財は近水園等8件が存在している。6年度は地域振興基金を活用して、近水園吟風閣の屋根を葺き替え、備中足守まちなみ館をリニューアルし、江戸時代末期建築の商家である藤田千年治邸を購入した。今後も素晴らしい雰囲気、足守を地元の方々と一緒に大事にしていきたい。



自由民主党
岡山市議会
江田 厚志

舗装切断時に発生する 廃棄物の適切な処理を

● アスファルト舗装の切削^{せうさく}工事で発生した粉じんや汚泥といった廃棄物が、河川や地下水へ流出すると市民生活に長期的な影響を与えかねない。これらの廃棄物の処理費を予算化し、適切な処理に向け周知徹底すべきでは。

▲ 国の工事では、当初契約で排水の状況が不明な場合、後日、廃棄物の回収と処理費用について、別途契約を変更する形で対応している。本市でも相談があり、国同様の処理を行った場合、契約を変更し対応する予定。今後は、契約書等に明記するなど、周知徹底を図っていききたい。



自由民主党
岡山市議会
花岡 栄太郎

自然に健康になれる プロジェクトの推進

● ベジ・ファーストOKAYAMAプロジェクト^{※2}により、野菜を摂取する機会を増やす中で、自然に健康になれる食環境づくりを進めているが、学校給食での指導内容は、また、プロジェクトの今後の展開は。

▲ 小・中学校では給食の献立を基に、野菜を食べる重要性や身体への効果等を教えており、小学校では、児童による野菜作りなど、野菜により親しみを持てる取り組みを行っている。今後も、健康づくりに取り組む地域のボランティア団体にも協力いただき、自然に野菜摂取に結び付く環境づくりを進めていきたい。



自由民主党
岡山市議会
岡崎 隆

暑さから市民を守る 冷水器の導入を

● 令和6年9月定例市議会、小・中学校への冷水器設置を要望し、7年度に4校へ試験導入されたが、全校へ導入してはどうか。また、高齢者が多く利用し、クーリングシェルターでもある公民館も全館に導入しては。

▲ 冷水器の利用が多い学校がある一方、ほとんどの学校もあつた。教職員から下校前の水分補給に役立つ等の声があり、一定の効果があると考え、効果検証と課題等の整理が必要だ。通学距離など諸状況を分析しながら検討したい。公民館への導入は、暑さ対策の一つであり、利用者の実態を見ながら検討する。

※2 【ベジ・ファーストOKAYAMAプロジェクト】
野菜から食べようをスローガンに、栄養・食生活、身体活動・運動、糖尿病に共通する課題である生活習慣病の予防と野菜摂取量増加のため立ち上げたプロジェクト

※1 【陣屋町】
およそ3万石の小大名の領主の館・政庁に接してつくられた町



自由民主党
岡山市議会
二嶋 宣人

感染症拡大期に 在宅当番医の拡充を

○ 在宅当番医制度^{※3}は、医師会の協力により規定数の当番医を確保しているが、年末年始のインフルエンザ流行期は受診患者が急増し、当番医の負担が過重となった。感染症拡大期には臨時拡充を制度化し、追加の在宅当番医の報酬を担保すべきでは。

▲ 感染症が流行し、受診患者が急増した際には、待ち時間が長くなることや、当番医の負担が大きくなるなどの課題がある。現在、臨時的に在宅当番医を増やすことや増分の委託料なども含め、どのような対応が可能か医師会と意見交換を行っている。



自由民主党
岡山市議会
和氣 健

時代に応じた 都市計画の見直しを

○ 大型合併を行い政令市となった今、都市計画区域を含め、都市計画法^{※4}に基づく計画自体を大胆に見直す時期ではないか。また、コンパクトシティに対応するためにも、都市計画の変更は避けられないのでは。

▲ 上位計画^{※5}の変更や人口増加、都市の成長に応じて都市計画を見直し、計画的な都市づくりを行ってきた。現在、人口減少や少子高齢化が進展する中、持続的に発展できる都市形成のため、コンパクトでネットワーク化された都市づくりを進めている。今後必要に応じて区域区分を含む都市計画の見直し等を計画的に行う。



公明党
岡山市議団
林 敏宏

手話通訳者の安定的な 確保に向けて改善を

○ 手話に関する施策の推進に関する法律^{※7}は、通訳者の安定的確保と養成を自治体の責務としているが、通訳料の引き上げなど通訳環境の改善を求める強い声がある。市として手話通訳者をどう位置付け、報酬や処遇を改善し、安定的に確保していくのか。

▲ 手話通訳者は、障がい者の意思疎通支援のために欠かせない重要な役割を果たしている。今後も安定的な確保を図る必要があると考えており、専任手話通訳者が業務に専念できる環境整備に努める。また、処遇改善などは、社会状況の変化を踏まえ検討していく。



公明党
岡山市議団
平元 道隆

災害時の情報発信 統一的な対応を

○ 令和7年7月30日にカムチャッカ半島付近で発生した地震への対応では、異なる避難指示情報がほぼ同時に発出され、市民の混乱を招いた。今後にいかすために検証を。

▲ 市地域防災計画では、津波注意報による避難指示は発令しないことになっているが、発令した県内沿岸自治体もあり対応が分かれた。市民の不安払拭のため避難指示を出したが、計画と異なる対応となり、庁内で十分な情報共有ができていなかった。今回を機に、庁内の情報共有を徹底し、防災体制の充実を図るとともに、県内自治体と統一的な対応の議論を進めたい。



公明党
岡山市議団
桑田 桂子

小学校進学時における 環境変化への対策を

○ 朝の小1の壁^{※8}により、親が退職するなどの場合がある。安心して子育てができるための職場の環境整備や、朝の子どもの居場所確保の認識は。

▲ 庁内では、早出遅出勤や選択的週休3日制の導入など、柔軟な働き方の推進に取り組んでいる。一方、企業では女性が輝く男女共同参画推進事業所の認証数が、平成27年の19社から令和7年4月には131社と増加したが、職場の環境整備はまだ不十分と認識している。

朝の子どもの居場所確保は、学校により登校状況や対応が異なるため、まずは状況を把握したい。

一般質問は、市議会ホームページでネット配信（ライブ・録画）しています。



※8 【朝の小1の壁】

小学校に入学すると、保育所よりも登校時間が遅くなり、預ける場所もないため、親の働き方に影響が出たり、子どもがひとりになる時間ができたりする問題

※7 【手話に関する施策の推進に関する法律】

国や地方公共団体は、手話の習得、使用や手話文化の保存、継承、発展、国民の理解と関心の増進のために取り組むこととされている

※6 【コンパクトでネットワーク化された都市】

居住などの都市機能を集約するとともに、これらが公共交通を中心に結ばれているまち

※5 【上位計画】

人口、人や物の動き、土地利用の方法、公共施設の整備など将来の見通しや目標を明らかにし、将来のまちをどのようにしていきたいか定める「都市計画区域マスタープラン」など

※4 【都市計画法】

都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与することを目的とした法律

※3 【在宅当番医制度】

休日や夜間において、地域の診療所の医師が当番で診療に当たること、軽症の救急患者に対応する制度

一般質問は、市議会ホームページでネット配信（ライブ・録画）しています。



日本共産党
岡山市議団
宿女 和子

小規模農家への支援を

○ 小規模農家も農業の大事な担い手だが、多額の費用がかかる機械の更新等のため継続が困難となっている。小規模でも頑張る農家への支援は。

△ 小規模農家は多様な担い手の一つであり、しっかりとケアしていく必要がある。一定の条件のもと、肥料や燃油などのエネルギーおよび農業用資材の価格高騰への支援を実施してきた。さらに、農業の多面的機能^{※9}の維持・発揮のための地域共同活動を支援する交付金制度等による支援も行っている。

本市独自の補助金等については、必要があれば今後研究していきたい。



日本共産党
岡山市議団
田中のぞみ

なぜ今アリーナ整備を進めるのか

○ 物価高で市民が苦しい生活をしている中、営利目的の施設をなぜ税金でつくるのかという声が多数ある。また、どの事業を優先するか市民合意が取れていないと感じる。収入の試算がコンサート利用頼みのアリーナを今整備する必要があるのか。

△ アンケートで、アリーナに一番期待していることはコンサートという結果が出ている。市民県民に楽しんでもらう場として、施設を整備していくと検討している。



おかやま
創政会
柳迫 和夫

水泳の授業数確保への対策は

○ 学習指導要領では溺れた際に命を守るためにも、水泳の実技授業は重要とされている。近年では施設の老朽化、天候の影響などで、授業数が減少傾向にあると言われているが、2学期に水泳の授業を実施できないのか。また、学校以外の施設の活用方針は。

△ 中学校では2学期に実施している学校があるが、小学校は授業編成やプールの維持管理上の課題から、想定していない。学校以外のプール利用は施設の受け入れ条件、移動方法や授業時間の調整等の諸課題を整理する必要があり、引き続き検討する。



みらいえ
鬼木のぞみ

アリーナ整備を問う住民投票を

○ 新アリーナ整備事業について、愛知県豊橋市では事業継続の賛否を問う住民投票が行われ、市長は住民投票の結果を尊重し、方針転換した。本市も住民投票でアリーナ整備について民意を問うべきでは。

△ 豊橋市では、市長と議会の見解に相違がある中で、一刻も早く方向性を見いだすための手段として住民投票が実施されたと理解している。

本市においては、否定的な意見の議員もいるが、議会としては同じ方向を向いていると認識しており、住民投票を実施する必要はないと考えている。



日本維新の会
岡山市議団
前島 慶太

客引き行為を減らす取り組みを

○ 客引き行為横行の報道がある中、条例により禁止すべきではないか。条例制定の課題は。また、客引きを減らす一層の取り組みは。

△ 条例制定の必要性は、地元や県警等の意見を聞きながら、客観的に整理した上で慎重に検討していく必要がある。また、既に条例を制定している他都市では、条例施行後は客引きが減ったが、時間経過により増えてきた等の課題があると聞く。今後も、地元住民や県警との合同パトロール、職員による実態調査を継続し、客引き行為の動向を注視するとともに、何ができるか検討を続けていく。

※9【農業の多面的機能】

国土の保全・洪水や土砂崩壊の防止・自然環境の保全・良好な景観の形成、文化の伝承など農業生産活動により生ずる食料その他の農産物の供給機能以外の機能